施工要領書

VICTAULIC®

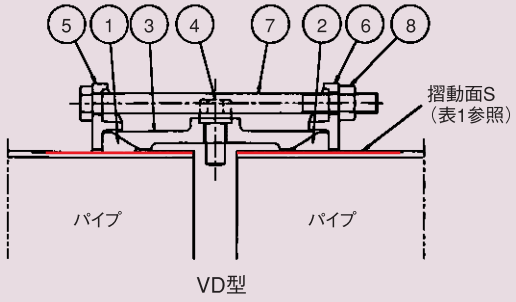
⚠ 注意
- スリーブジョイントを取り付ける前に必ずお読み下さい。
- この施工要領書の手順に従って施工しない場合は脱管、漏水などの事故となります。

品名	使用最高圧力
VD型	1.0MPa
RD型/RDS型	
D型/DS型	

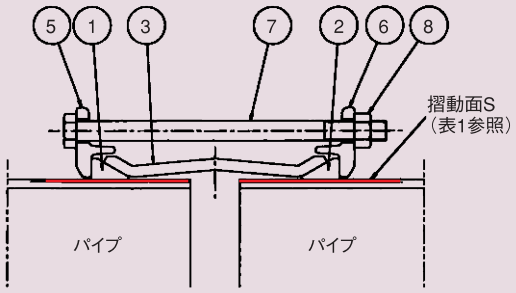
1 スリーブジョイントの型式

型式	呼び径	本体材質
VD型	(65A～300A)	ダクタイル鋳鉄
RDS型	(350A～900A)	一般構造用圧延鋼材又はステンレス鋼板他
DS型	(1000A以上)	〃

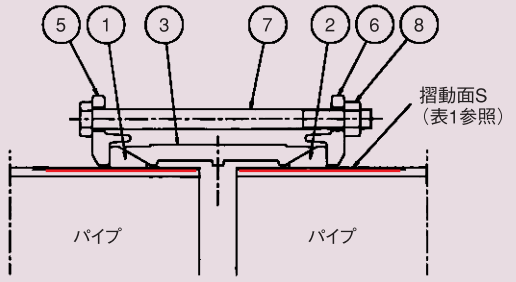
番　号	名　　称
①、②	ゴムリング
③	スリーブ
④	ストッププラグ（VD、RDS、DSのみ付属）
⑤、⑥	フランジ（押し輪）
⑦	ボルト
⑧	ナット



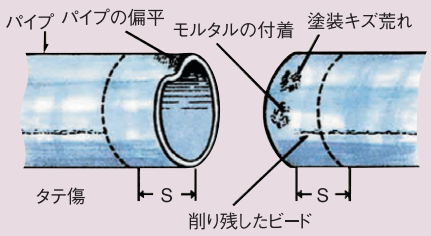
VD型



RDS型



DS型



2 取扱上の注意

スリーブジョイントは、気密部にクサビ型のゴムリングを用いた二重管型式のスベリ型伸縮継手です。パイプを偏平させたり摺動面に傷があると組立が困難となったり、気密性能を損なうことがありますから、取扱時には製品及び製品取付箇所のパイプに衝撃を加えたり、パイプ摺動面Sに傷を付けない様十分注意願います。

3 管端部のチェックをして下さい。

(1) 短管製作上の注意

スリーブジョイントの短管（スリーブに差込むパイプ）を御客様が製作される場合は必ず、弊社から提出する図面に基づいて製作して下さい。特に摺動面“S”には、偏平、傷、塗装のタレ、ムラ、ワレ、モルタルの付着などがない様に注意して下さい。

(2) 摺動面の確認及び補修

現地組立する場合、差し込むパイプに右図の様な欠陥がある場合は、手直して下さい。

（注）摺動面（右図S）とは、スリーブに差し込まれるパイプの外面に於いて、ゴムリングがスライドする範囲を示します。摺動面の長さは表1を御参照下さい。

(3) 摺動面の防錆塗装

耐食性のない管を使用する場合は発錆を防ぐため、必ず用途に応じた下地処理と塗装を行って下さい。又塗装のタレ、ムラ、削り残したビードなどが無い様注意して下さい。ステンレス鋼管を使用する場合は、ゴムリングがスムーズにスライドできるよう摺動面“S”に#200以上の研摩仕上げを施して下さい。

摺動面の概略幅　　表1

口　　径	摺動面Sの幅
65A～900A	管端から約150mm
1000A～1500A	管端から約200mm
1600A～2000A	管端から約250mm

4 組立手順

（1）摺動面とスリーブ両端シール面のチェック
スリーブに挿入するパイプの摺動面及びスリーブ両端シール面（テーパー面）に塗装傷や異物の付着等の凹凸が無いか点検し同時に清掃して下さい。凹凸のある場合は、平滑となる様補修して下さい。

（2）潤滑剤の塗布
相方のパイプの摺動面、スリーブ両端のシール面（テーパー面）、及びゴムリング内外面には必ず潤滑剤を塗布して下さい。

（3）フランジ・ゴムリング・スリーブを右図の様に左右のパイプにはめ込んで下さい。

（4）ゴムリングはテーパーの先端がスリーブ側に向く方向でセットして下さい。

（5）左右のパイプの芯を合せて下さい。

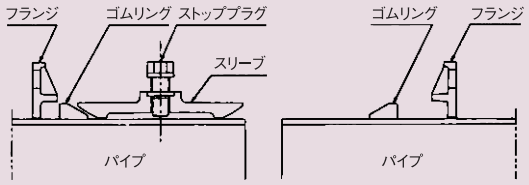
（6）遊隙EはLの半分以下にして下さい。（Lはカタログ又は当該図面を参照願います。）

（7）VD、RDS、DS型はストッププラグをゆるめると、スリーブを完全に片側のパイプに被せることが出来ます。反対側のパイプを寄せてから、スリーブを遊隙Eの中央にずらして下さい。その後ゴムリングをスリーブの両端テーパー部にはめ込み、フランジをゴムリングへ当たるまで寄せて、ボルトナットをセットして下さい。

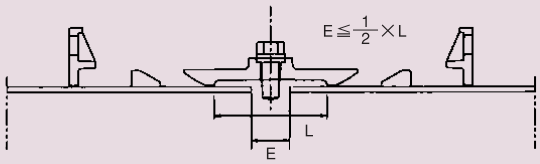
（8）ボルトは全周均等に少しづつ締め、最終締付トルクとして、下記の締付トルク値を目安にして下さい。

締付けトルク値

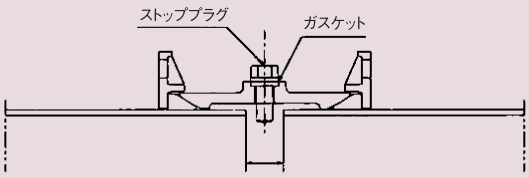
ボルトサイズ	締付トルク
M16	40～50N・m
M20	70～100N・m



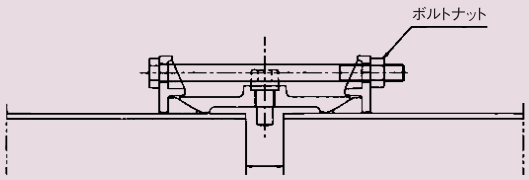
ゴムリングとフランジを相方のパイプに被せ、
スリーブを片側のパイプに被せる



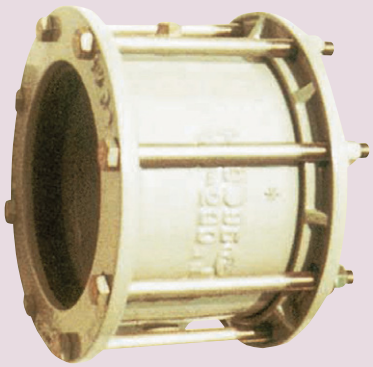
スリーブを遊隙Eの中央にずらす



ゴムリングをスリーブの両端にはめ込み、
フランジをゴムリングに当てる



ボルトナットを全数均等に締付けて組立て完了



5 水圧テスト

水圧テストを行う前に水圧で配管が移動しない様曲管部及び閉塞部が固定されているか確認して下さい。固定が不充分の場合は脱管する危険があります。又、フランジの締付力が弱いと漏水することがありますが、漏水した場合は増締めを行って下さい。それでも止水しない場合は一度分解してパイプのシール面に異常が無いか又、管芯のいずれが生じていないか調べて下さい。

6 保管

直射日光が当る場所で、製品を取り付けずに単体で長期間放置するとゴムリングの老化に影響します。屋内に保管するか屋外の場合はシートなどをかけて下さい。又、製品取付時、あてキズ等による発錆が認められる場合はタッチアップ塗装を行って下さい。

御不明な点がありましたら、下記に御連絡下さい。

日本ヴィクトリック株式会社

本　　社　03（5114）8531
大 阪 支 社　06（6341）3556
名古屋支社　052（223）8251
福 岡 支 社　092（431）8208
札 幌 支 社　011（241）0021
滋 賀 工 場　077（553）5121
神 戸 工 場　078（994）6721

MANAGEMENT SYSTEM CERTIFICATION DNV ISO 9001・ISO 14001
MGMT. SYS. RvA C 024